

# もも管理特報 No. 6

令和4年7月19日  
みな穂もも振興会  
みな穂農業協同組合  
富山県新川農林振興センター

## 1 生育状況

### (1)「あかつき」の肥大状況(7月15日時点、満開95日後、果樹研究センター)

- 果実の横径は、76.8mm で前年、平年に比べ大きい(前年比119%、平年比105%)(果樹研究センター測定値)。

果樹研究センター収穫状況

年次	あかつき		川中島白桃	
	始期	盛期	始期	盛期
R4年				
R3年	7/19	7/26	-	8/12
平年	7/25	7/29	8/14	8/17

### (2)「あかつき」の収穫期(果樹研究センター)

- 本年の収穫は、平年並みの7/23頃からと予想されている。

### (3)生理障害(7月12日時点)

- 裂果、核割れ：発生は平年並み。
- 生理落果：発生は平年並み。一部園地でやや多い。

## 2 病虫害防除

### <発生状況>(7月12日時点)

- せん孔細菌病：発生は、産地全体では少ないが、一部園地で激発。
- 灰星病、ホモプシス腐敗病：罹病果実の発生は少なく、平年並み。
- カメムシ類：フェロモントラップへの誘殺は、多発年(R2)に比べ少ない。

### <防除のポイント>

- 収穫期に入っている品種があるので、収穫前日数等の農業使用基準を遵守する。
- 「あかつき」以降の品種に対する灰星病対策として、収穫期前が多雨多湿の場合、除袋後にロブラール水和剤(1,000倍、収穫前日まで、3回以内)又はロブラール500アクア(1,000倍、収穫前日まで、3回以内)の特別散布を実施する。
- 収穫期間中、高温乾燥状態が続くとハダニ類の発生が懸念される。ハダニ類の発生が認められた場合は、スターマイトフロアブル(2,000倍、収穫前日まで、1回)を単用散布する。

### (1)薬剤防除

回数	散布時期の目安	対象病虫害	薬剤名と希釈倍率	100% 当たり 薬剤量	散布量 (ℓ/10a)	防除実施日 (自己記入)
特散	7月末 ~8月上旬 (中晩生品種 除袋後)	灰星病	ロブラール水和剤 または ロブラール500アクア (いずれも収穫前日まで) 展着剤 マイリノー	1,000倍 1,000倍 20,000倍	100g 100cc 5cc	400
特散	<u>ハダニ類 発生時</u>	ハダニ類	スターマイトフロアブル (収穫前日まで)	2,000倍	50cc	400
13	8/25 ~28頃 (収穫終了後)	モモハモグリガ、 シンクイムシ類、 ハマキムシ類	サムコルフロアブル10 展着剤 マイリノー	5,000倍 20,000倍	20cc 5cc	400

### 3 今後の管理

#### <ポイント>

- ・（今後の気象）向こう1か月（7月16日～8月15日）は、平年と同様に晴れの日が多い見込みで、平均気温は平年に比べ高く、降水量、日照時間はほぼ平年並みと予報されている。
- ・（収穫）収穫期間中も次の収穫予定品種の成熟をこまめに確認し、除袋・破袋作業、反射シートの敷設、灰星病の薬剤散布を遅れないように進める。
- ・（台風対策）台風の勢力や進路によっては大雨の可能性がある。果実は、収穫直前の大雨により急激に成熟が進み、一斉に収穫時期を迎える可能性があることから、園内に水が停滞しないよう、排水路の見直しを行うとともに、樹、品種ごとの成熟状況をこまめに確認し、適期収穫に努める。
- ・（肥培管理）収穫の終わった品種は、9月上旬頃までに硫安の礼肥を実施する。
- ・（土壌水分管理）乾燥、少雨が1週間以上続く場合は、かん水を実施する。  
特に苗木や若木はこまめにかん水を実施する。

#### (1) 肥培管理(礼肥)

- ・ 収穫の終わった品種は、下記を参考に礼肥を実施する。施肥量は、樹勢に応じて調節する。

目的	施用時期	肥料名	樹齢等	施用量 10a当たり	成分量kg/10a		
					N	P	K
礼肥	収穫終了後 (9月上旬頃まで)	硫安	成木(6年生～)	20kg	4.2		
			若木(3～5年生)	10kg	2.1		
			幼木(1～2年生)	-	-		

### 4 農作業安全

- ・ 十分な睡眠をとり、疲労が蓄積しないよう、体調管理に留意する。
- ・ 収穫時に脚立を使う場合は、開脚防止チェーンをかけ、安定した場所に設置し、天板には乗らず、こまめに脚立を動かし身を乗り出さずに使用する。
- ・ できるだけ気温の高い時間帯を避けて作業する。
- ・ 気温、湿度が高い中でマスクを着用すると、熱中症のリスクが高まるため、屋外の作業で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、マスクをはずす。
- ・ マスクを着用している場合には、強い負荷の作業は避け、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給を心掛ける。汗を大量にかいた際には塩分の補給もあわせて行う。
- ・ 体調確認や3密（密閉、密集、密接）防止など、新型コロナウイルス感染対策を実施する。
- ・ 出荷調整などの室内作業時は、定期的に換気を実施し、隣の人との距離をとりながら、会話等は必要最小限にとどめる。

## ○収穫中 ももの作業チェック表

作業内容	作業のポイント	実施適期	実施予定日 (自己記入)	実施日 (自己記入)
薬剤散布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 散布ムラが生じないように丁寧に散布する</li> <li>・ 散布予定日が降雨の予報である場合は、前倒しで実施する</li> </ul>	2 病虫害防除参照		
灰星病罹病果の切除	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 罹病果実は枝ごと切除し、園地外で処分する</li> <li>・ 罹病果実・枝を触った手で他の健全な果実を触らない</li> </ul>	随時		
着色管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新梢管理、枝つり、支柱入れを実施し、樹冠内部まで光が届くようにする</li> <li>・ 除袋・破袋し、反射シート等も利用して着色を向上させる</li> </ul>	収穫前		
収穫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 果実の色（地色）、形や硬さ、食味などを総合的に判断し、適期収穫に努める</li> </ul>	成熟期		
土壌水分管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乾燥少雨が1週間以上続く場合は、かん水を実施する</li> <li>・ 特に苗木はこまめにかん水を実施する</li> </ul>	必要時		
農作業安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収穫時の脚立や高所作業車からの転落事故に注意する</li> <li>・ こまめな休憩や水分補給など熱中症に注意する</li> <li>・ 体調確認や3密防止など、新型コロナウイルス感染対策を実施する</li> </ul>	4 農作業安全参照		

- ・ 農薬散布時は、近隣に告知するとともに、周辺の他の作物に薬剤が飛散しないように十分注意してください。
- ・ また、使用前に農薬ラベルの登録内容をよく確認して使用してください。

<問い合わせ先> JA みな穂 舘田 83-3212